



2022年10月号(第3号)

作成：井上・木下(小研2年)

小方・野田(小研1年)



#### 《サイエンスフェスティバル》

10月1日に長門市のルネッサながとにてサイエンスフェスティバルが開催されました。

サイエンスフェスティバルでは、長門市の小中学生を対象に、様々なものづくりや体験をとおして科学の面白さについて知ってもらう企画です。小研は8つのブースを出させていただきました。それぞれのブースのグループが準備の段階から一致団結して、子どもたちに安全に、そして最大限に企画を楽しんでもらえるように万全の準備を進めました。

当日は、どのブースも大変人気があり、来場いただいた方々に科学についてたくさん触れてもらうことができました。また、子どもたちとたくさんふれあい、子どもとの接し方をふくめ子ども理解が深まりました。たくさんコミュニケーションをとって子どもたちと積極的に関わろうとする姿が随所でみられ、それぞれ多くの学びがあったと思います。

このサイエンスフェスティバルで得たいろんな力をこれからの活動に生かしていきたいと思っています。

#### 《科学の祭典》

10月30日に岩国市の麻里布小学校の体育館で科学の祭典が開催されました。

今回の科学の祭典は、2年生の中から参加者を募集して、自分たちで車を乗り合わせたり、公共交通機関を利用したりしながら参加してきました。

私たち2年生は新型コロナウイルスなどの影響で科学の祭典に参加するのが初めてで、どのような企画なら参加する小学生に安全に楽しんでもらえるのか、どう説明したら伝わりやすいのかということを考えつつ、試行錯誤しながら準備をしてきました。

当日は、「貝殻キーホルダーづくり」のブースと「バスボムづくり」のブースに分かれ、児童と一緒に活動しました。参加してくれたどの児童もとても楽しそうに製作をして、「来てよかった」「おうちでもまた作ってみたい」などといった感想を聞かせてもらい、大成功を収められました。

この科学の祭典で、準備の過程や、当日、実際に児童たちやその保護者の方々と関わることができ、それぞれの学生が多くのことを学び取ることが出来ました。この学びを今後の授業や実習などに生かしていきたいと思っています。





### 《SDGs ミッションゲーム》

10月1日・2日に山口県セミナーパークで「やまぐちっ子 SDGs スクール」が開催されました。小研2年生8名が小学生26名と1泊2日共に行動し、SDGsについて学びました。

1日目はKRY山口放送「熱血テレビ」でお馴染みの気象予報士 山本昇治さんに、雲の種類や特徴、天気と災害についてなどを教えていただいたり、現職の先生方と一緒に、二酸化炭素と植物の関係を実験を通して学んだりする中で、地球温暖化について考えました。

2日目に行った「SDGs ミッションゲーム」は小研2年生が企画・運営をしました。前期の「教職協働実践 II」の講義でSDGsに絡めたゲーム内容を考えたり、定期的にゲーム内容を実演し合い改善したりしました。他の講義の関係で企画に参加できなかった人も、夏休みに集まり一緒に準備しました。

当日は7つのブースを出し、小学生6グループが各ブースの得点の合計点を競いました。ミッションゲームには小研1年生数名も参加し、スムーズなゲーム運営に協力してもらいました。

ゲームが終わった後、小学生から「もっとやりたかった!」「楽しかった!」と感想を聞いてとても嬉しかったです。子ども達が充実した時間を過ごせたことと同じくらい、私たちにとっても充実した時間になりました。

### 《実習報告会》

11月2日の1・2コマで小学校総合選修の全学年を対象とした実習報告会が行われました。この実習報告会は、2週間の実習を終えた3年生が、実習先で自ら小学生に行った授業の内容や工夫した点、気づきなどを指導案と共に発表し、意見交換をし合うという会です。意見交換と言っても、主に4年生が発表者(3年生)に向けて「より良い授業を行うためにはどうしたら良いか」ということを考えて提案をするという場面がほとんどで、私たち2年生や1年生は、3年生の授業づくりにおける工夫や、それに対する4年生の意見一つ一つにただ敬服するばかりでした。しかし、私たちが3年生になったら同じことをするのだと思うと、身が引き締まる思いでいっぱいになりました。今回の先輩方のように沢山のことを配慮しながら指導案をつくり、授業を行い、それを報告する。また、4年生になったらそれをより良くするにはどうすれば良いかを考え提案する。

今回目にした先輩方の姿はとても格好良く、自分たちが1、2年後のようになっていくのかと考えると不安にもなりますが、目指すべき姿を身近で見ることができて、とても良い時間になりました。

